

# Rotary International District 2830

## Governor's Monthly Letter

2020-2021

ガバナー月信 6月号



地区大会 2日目 尾木ママ講演会 の様子

### 目次

- ・ ガバナーメッセージ
- ・ 地区大会 開催報告
- ・ 地区研修・協議会 開催報告
- ・ 米山卓話講習会 開催報告
- ・ ガバナーエレクト、ガバナーノミニ、ガバナー補佐、地区幹事長 からの  
ご挨拶
- ・ 交換留学生募集ポスターのご紹介
- ・ 新聞記事掲載のご紹介 (6/1付 東奥日報)
- ・ ハイライトよねやま 254 より記事抜粋
- ・ コーディネーターNEWS 2021年6月号  
より記事抜粋
- ・ 財団室ニュース 2021年5月号より記事  
抜粋
- ・ 会員動向
- ・ 出席率表
- ・ 地区行事予定 2021年6月・7月

**Believe Together! 「信じ合おう」**

**国際ロータリー第2830地区ガバナー 源新和彦**

国際ロータリー第2830地区事務所

## ガバナーメッセージ



### 地区スローガン

*Believe Together!* 「信じ合おう」

国際ロータリー 2020-2021 年度

第 2830 地区ガバナー 源新 和彦

木々の緑の深みも増し、夏めいてまいりましたが、地区内クラブの皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。早いもので、私のガバナーとしての任期も、あと1ヶ月を切りました。一年間ご理解、ご支援をいただきました、地区内クラブの会員の皆様、地区委員長並びに委員の皆様、そして大所高所からご指導賜りました、パストガバナーの皆様にご心より感謝と御礼を申し上げます。

振り返りますと、2020年1月17日、私はガバナーエレクトとして米国のサンディエゴで開催されました国際協議会に出席するため、当地区を旅立ちました。国際協議会では、多くの気付きと感動を得られたことは大変貴重な経験でした。1月27日帰国してみると、日本社会は、出国前とは異なる雰囲気が流れておりました。未知のウイルス、新型コロナウイルスの国内感染の予兆でした。2月に何とか地区チーム研修セミナー(DTTS)は開催できましたが、3月の会長エレクト研修セミナー(PETS)と5月の地区研修・協議会(DTA)は、開催を断念し、DVDによる情報提供に致しました。

その後も感染拡大は続き、集合型のセミナーや多人数での会議は開催できず、一部ZOOMを併用した会議も開催しましたが、慣れない環境下で十分な情報交換ができなかったのは、大変心苦しく思っております。唯一、公式訪問だけは、感染予防に心がけ、

地区内41クラブ実現できたのは大変嬉しいことでした。本来であれば、地区内クラブにもっと伺い、皆様と直接情報交換し、親睦を深めたかったのですが、叶わず残念に思っております。

私は地区ガバナーとして、皆様に十分なお支援をすることができませんでしたが、皆様は厳しい環境のもとで、それぞれの奉仕活動や、世界ポリオデーでのイベント開催など、ロータリーの活動を止めない努力をしていただきました。心より敬意を表したいと存じます。

ロータリーは、それぞれのクラブが原点です。地区内のクラブ一つ一つが活性化し、よりインパクトを与える奉仕プロジェクトが実践され、その結果公共イメージが向上し、会員満足度の向上と会員の増加が図られれば、皆様のクラブはより成長できるでしょう。そして、それがロータリークラブの連合体である、地区や国際ロータリーの成長にもつながると信じます。これからも地区内ロータリークラブ成長のため、ともに前進することをお誓い申し上げ、一年間の感謝と御礼のご挨拶と致します。ありがとうございました。



## 地区大会開催報告



地区大会実行委員長  
川崎益美

4月17日（土）～18日（日）にかけて、国際ロータリー第2830地区、地区大会を地区スローガン Believe Together「信じあおう」のスローガンのもと開催致しました。

例年、当地区の地区大会は10月に開催されてきましたが、八戸市公会堂のリフォーム工事の為に、例外的にこの時期となりました。

連日、コロナのクラスター等が報道されているさなかでの開催でしたが、会員の皆様のご協力により、オンラインでの参加者と対面による会場での参加者と分散させていただきました。そして八戸市公会堂の対面会場は、収容人数の50%までとさせていただきました。

対面会場の参加者289名、オンラインでの参加者332名、そして全体の地区大会登録者数は940名の登録者数となりました。

初日の17日は、午前中に例年通り「各種委員会」と「諮問委員会」を開催して昼食後、13時30分から源新和彦ガバナーによる開会点鐘で大会を開会いたしました。

小林眞市長をご来賓としてご臨席を賜りました第一部は、例年通りのロータリーのセレモニー終了後、記念事業として、11月に開館予定の八戸市美術館に「テラス用テーブルと椅子」の目録を源新和彦ガバナーから小林眞市長に贈呈を致しました。

第2部からは、パストガバナーによる「各種委員会報告」、そして基調講演として山崎淳一PGによる「RI現況報告」、源新和彦ガバナーによる「地区現況報告」、工藤武重PGによる「規定審議会について」の講演がございました。

第3部は、いつもの様に「表彰」「今大会の所感」「謝辞」「次期開催クラブ挨拶」等で構成されて、閉会の点鐘は予定の時刻の16時30分に行われ無事に第一日目が閉会い

たしました。

2日目の18日(日)は、一般公開記念講演を開催いたしました。法政大学名誉教授で教育評論家の尾木直樹氏(おぎママ)による「自己決定力・豊かな子どもに」～学校・家庭・地域の役割～と題しまして、時にはジョークを交えて解りやすく講演をしてくださいました。

収容人数が1500名の八戸市公会堂が、事前予約で配布致した予約カードを持参し、五月雨式に参加者が時間ギリギリまで来場し、一般参加者数約600名、ロータリーアン150名の収容人数の50%である750名で埋め尽くされました。

講師の先生も、コロナの影響でこれだけの聴衆の前でお話しするのは、久しぶりとお話しされておりましたし、運営を企画致しましたホストクラブとしても企画が成功し、地域社会に少しでも貢献できたのではないかと考えております。

また、一般参加者に「世界ポリオデー」のPR用のポケットティッシュを配布する事もできてよかったと思っております。

最後に、地区大会開催にあたり中心的役割を担いました小向龍悦地区幹事長はじめとするガバナー事務所関係者、八戸北RC平野薫会長はじめとするクラブメンバー関係者の皆様に心から感謝を申し上げ寄稿とさせていただきます。



## 地区研修・協議会開催報告

地区研修・協議会実行委員長 山中 たける

例年であれば、200名程度が一堂に会して地区研修・協議会を行い、次年度のクラブ運営に向けて情報を共有して意思統一を図るのですが、コロナ禍という事で Zoom 参加者多数となり、ハイブリッド方式での開催となりました。

Zoom での開催は DTTS・PETS で行って 2 度目、前回の反省点を踏まえて勉強会も納得できるまで数回開催されました。Zoom ホスト班を 10 名募り、各自 Zoom ホスト役を担い、各自 PC を持参することで、ブレイクアウトルームの問題、持込 PC の設定の問題をクリアできるようにもなりました。当日は持込 PC の設定等に戸惑ったり、委員長にホスト役 PC を使用していただいたりもしましたが、想定内のことだったと思います。

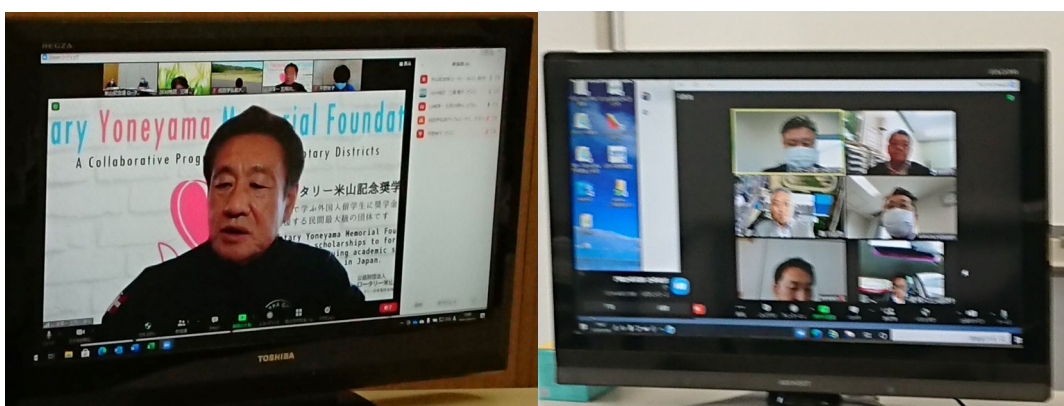
Plus の社員でイブニングの会員の赤城さんからは、『パソコンを使う仕事をしているためか Zoom 担当に任命されましたが、Zoom にはそれほど詳しくありません。しかし、社員と一緒に Zoom の機能を調べ、場面ごとの画面をどう切り替えるか、Zoom 参加の皆さんにうまく伝えるには、どうアナウンスして資料をどう配信するか等を考えながら準備を進めました』との事でした。

また、司会を務めてくれたイブニングの会員の成田さんも、『綿密な司会者原稿を Plus さんで作成して頂いたおかげで、原稿を読むことに集中することが出来ました。途中、発表者が追加となった関係で所属名称や肩書と氏名の読み方など、正確に伝えることが出来たか定かではありませんでした。事前に参加者名簿を確認し、氏名の読み間違いのないようにしておくことが必要だと思いました。』とも言っていました。

今回の地区研修・協議会では、会場参加者は 1 名と Zoom 参加者多数の欠席は目立ちましたが、開会セレモニーも少し緊張した中、上手く進んでいたと思います。基調講演では沼田直前ガバナーの巧みな講話内容とマイクさばきには一目置くほど上手いと思いました。

会長・幹事・会計部門では、コロナ予算と言ってもよい内容で、成田 GE の心配りに皆さんが一同に賛成していました。新会員部会で一生懸命に勉強をしていた安田会員の発表内容は、ロータリーの楽しさを理解した報告で、自慢したいと思ったのは私だけではないと感じたところでもあります。

今回の地区研修・協議会を終えて感じたことは、誰しもコロナ禍での開催には緊張と不安を感じていましたが、中止するのも一つの方法でもありますが、開催する方法や内容の在り方、危険を回避して事業を縮小しながら達成できた喜びや友情には、心を熱くする思いがありました。参加してくれた全てのロータリアンとそれを支えてくれた各クラブと全てのスタッフに、心から敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございました。



## 米山卓話講習会 開催報告

### ～緊張の中での卓話講習会～

米山記念奨学委員長 野坂 幸子

桜が満開のこの季節に第2830地区米山奨学生のための卓話講習会を開催致しました。

奨学生は会員の皆様の寄付のお陰で2021年度は12名のお世話をする事が出来ました。今後共引き続き寄付の方も宜しくお願い致します。

昨年度はコロナ感染予防のため、卓話講習会を中止致しました。その結果、会う事も無く修了していった奨学生もおりました。

そこで、今年度は、全員の奨学生が顔を合わせマスク・手洗い・消毒と三密にならないよう努めて講習を始めました。



始めに、2年目奨学生にお手本卓話をお願いしました。自己紹介、自国と研究の紹介、ロータリーへの感謝と見事な内容で発表の態度も素晴らしく立派でした。昨年、数回の卓話訪問と例会で鍛えられた事が良く分かりました。

次に、新奨学生10名も自己紹介を宿題にしておりましたので卓話を20分間でまとめ上げて、日本語で話す事の緊張の中で積極的に発表してくれました。

今回初めてパソコンを持参して戴きましたがパソコンが故障した奨学生やパソコンが苦手な方、パソコンが上手く繋がらなかった方がおりましたが、佐藤一尚地区委員長を中心に奨学生が相互に相談し合い、助け舟を出し合い和やかな雰囲気の中で卓話作りと発表が出来ました。

地区委員の皆様には奨学生一人一人に的確なアドバイスをして頂きました。

9時30分から12時30分の3時間で12名の全員の発表を終える事が出来ました。

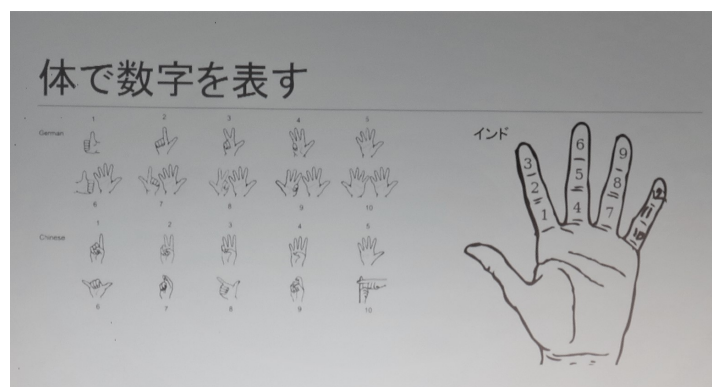
次期米山委員長三浦順子様、高井孝治副委員長、平野榮子地区委員の皆様には、会場



準備、お茶やお弁当のお世話をして頂きました。これから地区委員の皆様には、卓話訪問に同行することになるので今日は奨学生と絆を深める良い機会になったと思います。

優秀な米山奨学生には、質の高い学業や異文化への関心・コミュニケーション能力・ロータリー精神や奉仕へ大いなる期待が出来ると思いました。

最後に、カウンセラーの皆様とお世話クラブの会員の皆様との交流が卓話を向上させると思いますので今後共ご指導下さいますようお願い致します。



また、卓話訪問に呼んで下さるクラブの皆様にも奨学生との交流を楽しみにお世話を宜しくお願い致します。

緊張していた奨学生がパソコンとお弁当を持ってニコニコ笑顔で帰って行った後ろ姿が印象に残りました。

「今日はお疲れ様、頑張ってたね。」次に会うのが楽しみな卓話講習会でした。

2020-21年度ガバナーエレクト 成田 秀治

## ガバナーエレクトとして1年間を振り返って

来月から成田年度がスタートします。ガバナーエレクトとして1年間を振り返ってみると、新型コロナウイルスで始まり新型コロナウイルスで終わったような気がします。

同期ガバナーエレクトの最初の顔合わせの場である2020年7月1日に毎年東京で開催されるガバナー・元・次期ガバナー懇談会の中止で始まり、ガバナーエレクト研修セミナー(GETS 1およびGETS 2)が2回ともオンライン(Zoom)での開催でした。また、国際協議会も米国フロリダ州オーランドで行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でバーチャルでの開催となりました。通常より長い2月1日から11日までの11日間、午後11時からの本会議と午前11時からの分科会それに加え午後2時からのセッションもありました。全てオンラインによる会議でした。



3月14日の地区チーム研修セミナー(DTTS)ならびに会長エレクト研修セミナー(PETS)そして、5月22日の地区研修・協議会(DTA)開催にあたっては、対面式で行えることを期待して準備して来ましたが、結果的には、最小人数での参加者+Zoomを併用したハイブリッド式でのセミナーと致しました。誠に残念に思っています。

新型コロナウイルスの感染により、行動や会合が制限され、皆さんも困難を感じていらっしゃると思いますが、様々な手法を取り入れながら工夫し、本来の活動やコミュニケーションを維持することの難しさを考えさせられた1年間だったのではないのでしょうか。最後にプラス要素としては、オンライン会議が容易に開催できるようになったことです。

ガバナーノミニー 田中常浩 (むつRC)

## ガバナーノミニーとしての一年を振り返って

地区の皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

私は、むつロータリーで二人目のガバナー候補者として、2020年7月ガバナーノミニーとして紹介され、早いもので間もなく一年が過ぎようとしております。

昨年及び今年は、コロナの影響で、クラブ・地区の行事殆どが中止やオンラインでの会議ばかり、対面での会議はありませんでしたが、幸いにも、むつ・下北地域は感染者0でしたので、緊急事態宣言中以外では例会は普通に実施しておりました。

ただ、むつ地域で50周年を迎える、大畑ロータリークラブ解散の話を耳にした時には、むつロータリーがスポンサーでしたのでびっくりしました、どうにか存続出来ないか、色々模索しましたが無理と分かり、源新ガバナーに相談した所、2830地区初めての衛星クラブ誕生、今後は衛星クラブとして活動してはどのアドバイスをもらい、今年1月に誕生しました、クラブは一つ減る事になりましたが、会員はむつロータリーに加わるので、地区として会員減にならなかったのは良かったと思っています。

ノミニーとしての活動もオンラインでのみ、昨年11月資料が届き11月7日ZOOMの事前テストを行い、26日ロータリー研究会オンライン会議で初めて参加者の顔を見る事が出来ました、その後の会議は全てオンライン、12月5日午後から戦略計画推進セミナー、夕方から未来形成意見交換、12月6日青少年交換委員長会議、今年1月24日危機管理計画会議など、地区の行事・会議も対面とオンラインでの活動になりました。

ノミニー交流会もオンライン、嶋村議長予定者の発案なのか、日本には3地域がありますので、地域ごとの交流会を提案され5月より月1で今行っています、青森は第一地域で、ホストは2510地区、北海道西部札幌の石丸修太郎さん、5月7日1回目の地区交流会を実施、自己紹介と自由な意見交換、6月3日は地区事務所について話し合いました、次回は7月2日予定です、ノミニー全体の会議も月1で計画され、12月まで決まりました。

7月からはエレクトとしての活動になりますが、今年はオンライン会議ばかりでのようで、早く対面での会議・親睦が出来る様に願っている昨今です。

東第1グループガバナー補佐 横手 幸年 (七戸RC)

**2020~21年度の一年間の活動を振り返って**

この一年間を、振り返るとまず、大畑ロータリークラブのクラブ退会の報に始まりこれから大変だと感じました。しかし源新ガバナーの説得により衛星クラブとして何とか継続できました。このことはこれからの新しいクラブのあり方の一つの方向性を示しているのではと感じました。

新年度に入る前に各クラブ野辺地 RC を皮切りに東北 RC、むつ RC、むつ中央 RC、大畑 RC、六ヶ所 RC、そして我が七戸 RC と訪問させていただきました。主な目的は、ローターアクトクラブの年齢制限が撤廃されたことと、是非新しいローターアクトクラブを創設していただく事をお願いしてまいりました。

ガバナーの公式訪問では、源新ガバナーから衛星クラブ、ローターアクトクラブ等新しい形のクラブのあり方を紹介してきました。しかし中々すぐにはできることではないことは理解できます。これから何年か先には色々な形のクラブが出来ていくことと思います。

特に今年度は、コロナ禍で集まることもはばかれる時代のあり方としてやはりネットを活用した集会が必要だと感じました。

地区行事も、積極的に参加協力していく予定でしたが、例年行っていた各種行事も、中止、縮小及び Zoom による会議と変化して、中々皆さんとお会いして親睦を図ることが出来ず不完全燃焼に終わった一年だったと思います。

東第2グループガバナー補佐 山端 政博 (十和田RC)

コロナ禍に思うこと

中国の武漢華南海鮮市場で発生した、新型コロナウイルスは瞬く間に全世界に広まりまさしくパンデミックと化し、世界の経済は混とんとした状況に陥っていることは誰もがご承知のことです。



私は、昨年2月迄は仕事で毎月のように上京して視察研修などに参加しておりましたが、3月からは一切県外には出向かず、ましてや県内でも頻繁にコロナが発生するようになってからは、地域内の活動すらも限定的なものとしてまいりました。

一方で、我が有料老人ホームでは入居者の家族に來訪しての面会はお断りし、リモート面会に切り替えていただき、また保育園では園児の保護者にも玄関先での送迎等、その対策には厳しくもできるだけのことを実施してきました。

齡71才を数え、こんな体験をするなど想像も出来ませんでした。

目に見えない恐るべきコロナウイルスが、なんの準備もない人々を次々と襲う現実によくの人達は今、唯々ワクチン接種の機会を待つばかりであります。

地区ロータリーのことに目を向けると、すべての事業に甚大なる影響があることもまた事実であります。

諸先輩たちは、手に手を取り合って組織拡大を念頭に、幾多の交流の場を設定しながら会員相互の繁栄と、世界平和を目指して活動してきたものと確信しております。

今まさに変革の時代が到来していると思うのは私ばかりでは無いものと思います。

リモート時代が到来した中で私達は、どうしたら共存共栄を図れるのか真価を問われていると思います。

そしてまた持続可能なクラブ運営もまた喫緊の課題でもあります。

地域社会に向けては、奉仕しよう みんなの人生を豊かにする為に実践行動をしなければならぬと思います。

### 西第1グループガバナー補佐 寺田政史 (五所川原中央RC)

#### 補佐の経験を通して

「ガバナー補佐をやる順番が来たから…」「お前がやれ！」と言われスタートしたお役目。補佐の任は、ガバナー公式訪問のための分区内クラブへの事前挨拶とガバナーからの伝達、クラブの状況報告、そして一番の大きな役目がインターシティ・ミーティング(IM)の開催であると事前研修で学び、年4回のクラブ訪問を実施する計画を立てました。しかし、IMの開催については、感染症拡大の中で本来の時期からずらして開催を企画したものの、結果的に開催を中止する決断をしたことが本当に正しかったのかと今でも心残りです。

そんな社会情勢にあっても源新ガバナーは、「信じ合おう」と自ら掲げられたスローガンのもと、多くのロータリアンや一般の方を巻き込んでの地区大会を成功裏に導かれましたことに心から敬服いたします。



補佐として、自身の所属クラブ以外への訪問は分区内というわずか数クラブではありましたが、新たな会員との交流を求めることが思いのほか精神的な強さが必要なものだと感じましたし、県内の全クラブを回られるガバナーはやはり強い(こころ)なあと感心させられました。源新ガバナーの元で、補佐を務めさせていただけたことに何よりも感謝申し上げます。

**西第2グループガバナー補佐 宮腰浩一 (大鰐RC)**

スペイン風邪の世界的な流行のより100年あまりたった今又コロナウイルスが世界的に猛威を振るっています。

当然、我々にとっては初めての経験で何がどうなっているのかも全然わからない一年でした。カバー補佐としてもいろいろな行事が中止になったり延期になったりとかでただ流されているばかりで補佐としての任務を果たしていない一年のような気がします。いろいろな規制がある中 各クラブともいろいろ工夫をされいつも通りの活動が出来るよう頑張っておられました。遠い外国で発症したコロナが瞬く間に世界に広がり私たちのところまですぐに届いてしまう現状を見て改めて世界はつながっているという事実を感じました。

世界組織であるロータリークラブはこれからますます世界に必要とされ世界で活躍できる組織だと思います。

私もロータリー会員として誇りをもって微力ですが頑張りたいと思います。

1年間ご協力ありがとうございました。

**中グループガバナー補佐 森内忠良 (青森RC)**

初夏になり源新ガバナー年度も残すところあと少しとなりました。地区会員の皆さまもこのコロナ禍での活動、ご苦労様です。

活動が制限され、ロータリーとは？と考えさせられる日々の中、先輩方が残してくれた軌跡をたどるため、青森RC 木村義正会員が平和母子像のメンテナンスと清掃の提案をされ、5月8日に無事行われました。

平和母子像は青森 RC 創立 10 周年記念事業として、青森市柳町通り中央分離帯に 1963 年に設置されました。(現在は都市計画のため移設) 当時は戦争の鎮魂と平和を願い、文化と芸術を街の中にといい思いがあったようです。

集うことが制限される中、先人のロータリアン精神に触れられ、参加者一同は感無量だったでしょう。やはり「集うこと」の意味は目的、方法が異なっても楽しく新しい何かが生まれると実感いたしました。平和母子像に救われた気がしました。先人のロータリアンに改めて感謝し、今後も精進を心がけたいと思います



### 南グループガバナー補佐 築館智大 (八戸 RC)

#### 第 2830 地区南分区ガバナー補佐として 1 年を振り返って

早いものでもう 6 月になった? という感想です。コロナ禍の中で、何もできない 1 年間でした。各クラブでも同じ状況だったと思います。通常のクラブ運営を行う事すら難しい状況でした。

しかし、この様な状況下でもなんとかクラブ運営を通常の時と同じように、いやもつと楽しく、創意工夫をしたクラブも有りました。



こんな時こそ私達は変われるのです。変わらなければならないのです。チャンスです。新型コロナがなければこんなチャンスは来ませんでした。RI もロータリーそのものをクラブ運営の仕方を、組織の在り方を大きく変えようとしています。いまこそ、より良いクラブ運営の為にたくさんの”武器”を考えましょう。試みましょう。作りましょう。折角のチャンスです。オポチュニティーとしてとらえましょう。

まだまだコロナ禍は収まらないと思っています。私達も積極的に色々な事にチャレンジしていきましょう。そんなことを考えていると、今年度も悪い年度ではなかったなあ。と思えてきます。

### 2020-21年度地区幹事長 小向 龍悦 (八戸北RC)

早いもので源新年度も残り1ヶ月を切りました。この一年間、地区の会員の皆様のご協力とご理解をいただきながら地区幹事長を務めさせて頂きました。忍耐かと思われた一年は、わからないからこそ楽しい挑戦の連続でした。それを許容していただいたロータリーの友情と愛情、地区事務所スタッフに深く感謝申し上げます。

年度当初から、RIの変化、コロナ禍、時代の変化への対応が課題でしたが、地区の裏方としてどこまでお役に立てたのか、最後まで不安が残ります。Zoomの併用、Facebookによる発信、地区ホームページによる情報の取得や発信など、これからに向けた土台はできあがり、動き始めているのも確かです。次は使いこなしていく段階に突入していきます。新しい年度を迎えるとさらに変化が起こるのかもしれませんが。でも先端に見える技術や手法もAIなどにより、もっともっと使いやすくなるのも間違いないでしょう。なぜならロータリーの行動や活動はもちろん、世の中のすべては“あい”が原動力だから。

これからも、信じあいロータリーをもっと楽しみたい！

ありがとうございました。

## 交換留学生募集ポスターのご紹介

2020-21、2021-22年度の青少年交換プログラムは新型コロナウイルス感染の影響のため中止となっております。2022-23年度の募集を再開するにあたり初の試みとしてポスターを制作いたしました。県立高56校、私立高17校、高専1校に掲示をお願いいたします。コロナ禍であっても、工夫して何か新しいチャレンジをしてみてもどうか。こんなに素晴らしい事業なのにあまり知られていないのは残念。という源新ガバナーからのリーダーシップの賜物であります。 青少年交換委員長 細川勝也

国際ロータリー第2830地区

# ロータリークラブ 交換留学生 募集!






国際ロータリーは、青少年の国際交流の機会を創設し、お互い友情を育み、平和の礎を築くことを願い青少年交換プログラムを実施しています。毎年、世界150ヶ国以上の約8,000名の高校生が母国を離れ、このプログラムに参加しています。ホームステイ、現地の高校（長期）での学び、地域社会でのコミュニケーションを通じて自らを高める事が出来るでしょう。滞在費や学費はすべてロータリークラブが負担します。

国際ロータリー第2830地区（青森県）では、2022年夏出発の長期交換留学生（1年間）の募集を行っております。

**応募資格**

以下の資格と条件を満たしている方が対象です。

④国際ロータリー第2830地区（青森県）内に居住、またはその地区の高校に在学（または在学予定）し、2004年4月2日から2007年4月1日に生まれた心身ともに健康な男女。

⑤保護者の承認があり、且つ通学する学校長及び区域のロータリークラブ会長の推薦が得られる者。

⑥学業の成績が一定水準以上の者で、海外生活に積極的に参加する意欲のある者。

**選考方法**

選考試験を行います。  
2021年10月10日（日）を予定。

**申込方法**

まずは居住区域内にあるロータリークラブに応募したい旨をご連絡ください。クラブが応募を受け付けた後、必要書類（①青少年交換派遣申込書②高等学校長推薦状③その他要請の書類）を提出していただきます。

**応募締切**

推薦ロータリークラブを経由し、2021年9月30日（木）必着で、国際ロータリー第2830地区事務所へ応募してください。

※新型コロナウイルスの感染状況により、青少年交換プログラムが一時休止になることがあります。

問い合わせ先

国際ロータリー第2830地区 地区事務所  
〒030-0812 青森県青森市堤町1丁目1-23 ホテル青森内  
青少年交換プログラム  
**TEL : 017-732-2830** (担当：事務局 浅利)  
FAX : 017-732-2831 E-mail : rid2830@outlook.jp  
URL : <https://rid2830.org>

## 新聞記事掲載 のご紹介

2021年6月1日付けの東奥日報に 亀山瑠香さん（国際ロータリー財団国際親善奨学生）の  
記事が掲載されておりましたので皆様にご紹介いたします。

東 奥 日 報

2021年（令和3年）6月1日 火曜日

# ひと 散歩道

ソプラノ歌手  
三沢市で総合スクール運営

かめやま るか  
亀山 瑠香さん(35)



## 学ぶ選択肢提供したい

ソプラノ歌手として、  
上十三地域でコンサート  
を開くなどの活動をして  
きた。故郷の三沢市で、  
音楽や語学、科学教室、フ  
ラワーアレンジメント、  
プログラミング芸術など  
多様な分野の総合スクー

ル「スタジオリ」を運営。  
地域の学習環境を充実・  
発展させようと奮闘中  
だ。このほか、依頼を受  
け地域の保育所15カ所以  
上で、子どもたちにリト  
ミックを指導している。

「地方に住んでいても、  
いろいろなことを学べる  
選択肢を子どもたちに提  
供したくて。子どももつて  
自分で何が向いているか  
分からないもの。例えば  
英語を習っている子が、

隣の部屋から聞こえたピ  
アノに興味を持ち、やっ  
たらのめり込むという  
ことがあります。さまざ  
まなことを身近に体験し  
たり、きょうだいで同時  
に別の講座を受けたら、  
ワンストップでできるの  
が総合スクールの特徴で  
す」  
三本木高校、洗足学園  
音楽大学を経て、国際ロ  
ーターリー財団国際親善奨  
学生としてオーストリア  
・ウィーンの音楽院に2  
年間留学。留学準備で語  
学を学び、総合的な学習  
の場があることの大切さ  
を体感した。小3の子ど  
も母親でもある。

「2017年1月、お  
いらせ町にピアノとバイ  
オリン、英語のスクール  
を開設。当初3人だった  
生徒が100人を超え20  
年8月、三沢市の現在地  
に移転し、本格的な総合  
スクールとしました。現  
在の生徒は三沢、おいら  
せ、六ヶ所、東北、七戸  
などの約200人。約8  
割が小学生と未就学児で  
すが、大人もいます。五  
つのレッスン室を設け、  
講師20人が約25種類の講  
座を指導しています」  
—今後の目標を。

（岡田圭逸）

## ハイライトよねやま より記事抜粋



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

## ハイライトよねやま

Vol.254

2021年5月13日  
発行

## 1. 軍政続くミャンマーから学友レポート

今年2月1日から、毎日の悲しい出来事に、ああこれが夢だったら……と考えぬ日はありません。心が壊れそうになるのを耐え、平和と安全を祈る日々です。

あの日から私たちの生活は一変しました。今まで毎日やる事がたくさんありましたが、できる事がほんの僅かに限られ、何をすることも不安がつきまといます。インターネットは企業用と光ファイバーしか繋がらないので、多くの市民は外部の情報を得ることができません。私の教室では、せめて子供たちの教育だけは守りたいと、オンライン授業を続けていますが、それも困難な状況です。最低限の買い物や銀行へ行くといった外出すら安全ではありません。



ある日のデモの様子（学友が参加しているわけではありません）

今までたくさんの苦勞を乗り越えてきましたが、今回ほど辛いものはありません。一番辛いのは全面的に自由がなくなった事です。自由に話せない、自由に動けない、自由に教育が受けられない、自由に働けない、自由に人を助ける事ができない、自由にボランティアができない――。

学友会メンバーとは全員は連絡が取れていませんが、皆無事だと思います。ただ、最近是有名人、医者、ボランティア団体などが狙われ、逮捕されたりしています。集まると目をつけられるため、今ミャンマーではロータリークラブの例会や活動、米山学友会活動を行うことができません。互いの連絡も控えている状況です。

ミャンマーの若者は勇気があり、心優しく、賢い人が多いです。私はこの国の未来のために、これからもミャンマーで次世代の若者や子供を育てる仕事を続けて行きたいです。

国内は経済状況が悪化し、支援が必要な国民が増えています。ミャンマーの平和な日常を皆の力で取り戻し、今後もロータリーの活動がミャンマーで継続できるよう願っています。皆様の応援にいつも心から感謝しています。

（匿名希望 2010-11年度米山奨学生より）

## 2. 被害を受けた家庭へ物資などを提供

ミャンマーの現状に心を痛めた大阪在住のロータリアンが支援を申し出たことを受け、在日ミャンマー人学友（匿名希望 2018-20年度米山奨学生）が家族の協力のもと、現地で被害を受けた家庭約30軒に米などの食料と生活必需品

を提供したほか、父親を亡くした高校生へ1ヶ月分の学費を寄付しました。



寄付者の氏名が添えられた物資を受け取る人々



### 3. 「学友の集い」で米山をアピール！

4月10日、第2580地区（東京）が主催する第2回「学友の集い」が開かれ、学友やロータリアンなど97人が会場に集まったほか、オンラインでも28人が参加しました。

このイベントは、ロータリー学友（青少年交換、インターアクト、ローターアクト、RYLA、ロータリー財団奨学金、米山奨学金などの修了生）が、プログラムや年代を超えて交流できる場として企画されたもので、第1回目は2019年5月に実施されています。

当日は、野生司義光ガバナー、そして第2750地区から参加した青柳薫青少年奉仕委員長の挨拶に続き、各プログラムの学友代表がそれぞれの活動について報告しました。ロータリー米山奨学生学友会（東京）からは、理事長のイト チャンソクピアさん



（2010-11／東京田無RC）が登壇し、学友会の活動を報告しました。その後、学友らが中国クラシックダンスと朗読、バイオリン、ピアノや二胡による演奏、モンゴルや沖縄民謡の独唱、三味線と笛による日中伝統楽器合奏などを次々

と披露し、会場を沸かせました。最後は、米山学友・現役奨学生27人全員が立ち「上を向いて歩こう」を合奏・合唱しました。

前理事長の梁一強さん（1999-2001／東京四谷RC）は、「昨年、日本のロータリー100周年を記念して企画した『インターナショナル

サロン2020』が、新型コロナウイルスのため中止となったが、そこで披露する予定だった演目を発表する機会をいただき、とても感謝している。今後も学友が母国を紹介できるような交流の場を作っていきたい」と、語りました。

### 4. 寄付金速報 — 4月単月はやや回復 —

4月までの寄付金は前年同期と比べて0.7%減（普通寄付金：0.4%減、特別寄付金：0.8%減）、約790万円の減少となりました。ただ、4月単月の寄付額を見ると過去3年間で最も多く、復調への兆しも見えます。全国的に例会を休会し

ているクラブが多い中、ロータリアンの皆様からのご支援に深く感謝申し上げます。まだ収束の見通しが立たず、今後の不安も残りますが、これからも当奨学事業へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

### 5. 『ロータリーの友』で学友の寄稿を連載中！

『ロータリーの友』に毎号、「よねやまだより」のページがあることをご存じでしょうか？

今年度からは好評の新シリーズ、「米山から世界の町へ」を連載中です。米山学友が自分の住む町の紹介や自身の近況をつづりながら、日本のロータリアンへ向けたメッセージを書いています。海外との往来が制限されている昨今ですが、近い将来、ぜひ学友の母国や地元を訪ねてみてはいかがでしょうか。現地から、そうしたレポートを書いてくれる学友がいましたら、

[seminar@rotary-yoneyama.or.jp](mailto:seminar@rotary-yoneyama.or.jp)（広報担当：野津）までご連絡ください。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会  
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F  
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : [highlight@rotary-yoneyama.or.jp](mailto:highlight@rotary-yoneyama.or.jp)  
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>  
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

## コーディネーターニュース より記事抜粋

Rotary  
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター 2021年6月号 No.1  
NEWS

発行：Region 1 & 2 & 3  
ロータリーコーディネーター  
ロータリー公共イメージコーディネーター

### 「地区・クラブにおける継続性」

日本の3地域において、2019～2020、2020～2021年度(第3地域は2018～2019年度から)に「戦略計画」についてのアンケートを当該年度のDGEにお願いしてご回答をして戴きました。

このアンケートの3地域のデータについては、近いうちに皆様方にお示しする事が出来ると思いますが、今回のコーディネーターニュースでは、第3地域の結果に基づいて述べさせて戴きます。なお、本年4月19日に開催された第1、2、3地域合同会議でのデータのすり合わせではほぼ同様の結果ではあったと感じています。

2020～21年度では地区戦略計画(ビジョン)委員会は、地域内では約91%の地区が委員会活動を開始しています。2018～19年度の調査では、8地区が委員会を設立し活動開始、2地区が設立はしているが未活動、1地区はまだ委員会を発足していない、という結果でした。2019～20年度の調査では、発足して活動している地区が8地区、発足しているが活動していないが3地区、という結果でした。紙面の関係でお見せすることが出来ませんが、年度ごとに回答が一致している地区は7地区です。4地区は統一された3年間の統一した進展がありません。このことは地区戦略計画委員会が持続性をもって運営されていない可能性が充分あるものと考えます。そうであればこの点の修正をしていくことをお考えいただきたいと思います。

‘20～21年度で地区ビジョン、中長期目標を決定しているのは7地区、検討中が4地区でした。これも‘19～20年には決定していたのに、‘20～21年には検討中となっている地区が2地区見られました。勿論、もしこの地区がビジョン・中長期計画の見直し・再検討をしているのであれば、これは頼もしいものかと考えます。

各地区内のクラブの戦略計画委員会の設置状況に目を移してみましよう。‘20～21年度でクラブ戦略計画委員会(別名称でも可)の設立は50%以上が6地区、50%以下が5地区です。各クラブの委員会の設立は、50%以下のクラブでも‘18～19年度より着実に委員会設置されているクラブの増加が見られているようです。まだ委員会の設置が整っていないクラブは、担当のガバナー補佐、あるいは地区戦略計画委員会へご相談の上、クラブ会員基盤を堅実なものにして戴きたいと存じます。

地区内でクラブビジョン或いは中長期計画を決めておられる割合が50%を超えている地区は、残念ながら2地区のみに終わっています。これはクラブの委員会の皆様にお力を注いで戴き、是非“クラブの3年5年10年先のクラブのあり方”、“皆様方のクラブの発展”をお考えの上、“クラブのビジョン”をお考え下さい。

ここでもう一度申し上げますが“クラブのビジョン”というのはその年度の“会長のテーマ”“地区ガバナーのテーマ”ではありません、先程申し上げた“自分のクラブの未来の姿”なのです。この中には“未来の奉仕活動を如何にするのか?”“自分のクラブの会員数をどの程度にするのか?”“クラブの資金を如何にするのか?”などなど様々なことが考えられるでしょう。是非クラブで検討をしてみてください。

2012年RI D2660DGを務めさせて戴いた後、地区戦略計画委員会の設立に始まり、地区内クラブに戦略計画委員会設立に力を注いで戴きました。

ロータリー公共イメージコーディネーター補佐、ロータリーコーディネーター補佐、ロータリーコーディネーターを務めさせて戴き様々な方に教えられ、様々なことを見せて戴きました。

各クラブが創立時のロータリーに入会した時の“ワクワクした気持ち”を若い世代に伝え、自分が行ってきた奉仕活動でえた“ワクワクとした気持ち”を若い世代に伝えて下さい。

私がいつも「ロータリーを皆様の時代に終息させて良いのですか?私はロータリーは未来に続くものだと考えています。そのためには“若い血の導入”が不可欠です」と申し上げています。

この素晴らしい組織を新しい仲間を加え皆様と共に守っていきましょう!!

第3地域 ロータリーコーディネーター 高島 凱夫 (大阪中之島RC)

## 財団ニュース より記事抜粋

財団室NEWS5月号


 R | 日本事務局  
**財 団 室**  
**NEWS**

 2021年5月号  
 青少年奉仕月間  
 発行日 4月28日


ロータリーは機会の扉を開く

## お知らせ

## 【日本のロータリー100周年】

日本初のロータリークラブの設立は、二人の日本人ビジネスマン、福島喜三次氏と米山梅吉氏のアメリカでの出会いがきっかけでした。この出会いから数年後の1921年4月1日、日本で第一号となる東京ロータリークラブが加盟認証されることとなります。記事の続きは[こちら](#)

## 【国際大会】

6月12日～16日に開催される2021年バーチャル国際大会の登録受付が開始されました。2021年バーチャル国際大会は、ロータリーファミリーに積極的に参加し、新しいことを学び、画期的な機会の扉を開くチャンスとなります。バーチャルラウンジで仲間とのネットワークを広げ、奉仕の新しいパートナーを見つけ、世界中の会員との楽しいアクティビティをお楽しみください。ロータリー会員や参加者ならどなたでもご参加いただけます。

## My ROTARY 「2021年バーチャル国際大会」

※2021年6月10日～11日に開催されるローターアクト、青少年交換役員、国際共同委員会の大会前会議への登録も受け付けています。

## 【WFウェビナー リンク】

3月に行われた国際財団活動資金(WF)に関するウェビナーにご出席いただき、誠にありがとうございました。パワーポイントのプレゼンテーション資料とウェビナーの録画がMy ROTARYの「年次基金とシェア」ページに掲載されました。「リソース&参考資料」欄から「[国際財団活動資金\(WF\)に関するプレゼンテーション\(パワーポイント\)](#)」と「[国際財団活動資金\(WF\)に関するプレゼンテーション\(動画\)](#)」をご覧ください。

## My ROTARY 「年次基金とシェア」

<https://my.rotary.org/ja/annual-fund-and-share>

RILETは、My ROTARYから随時ご確認いただけます。

[My ROTARY RILET](#)

## 寄付送金明細書

寄付総額 世界上位3ヶ国

2021年4月17日現在

アメリカ	\$	156,911,972
韓国	\$	18,572,421
日本	\$	13,979,441

日本の状況

冠名基金数 207

※地区、クラブが設立した冠名基金含む

AKS会員数 49

PHS会員数 1072

2020-21年度

目標(世界)

- ・年次基金:1億3,500万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ゲイツ財団から2倍の金額の上乗せ含む)
- ・恒久基金:8,500万ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:4,000万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):4億1,000万ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり150ドル
- ・ポリオプラス:一人当たり30ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へDDF寄贈
- ・各地区がDDFを使い切る
- ・グローバル補助金・地区補助金の活用促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

## 財団室NEWS5月号

ロータリーの運営、イベント、会員に対する新型コロナウイルス（COVID-19）の影響について、  
[最新情報をこちら](#)からお読みください。

## 【ワクチンのコールドチェーンとは】

コロナ禍を克服するには、世界中で大規模なワクチン接種を行うことが不可欠ですが、そのためのロジスティクスは非常に複雑です。その要因は2つ、保管と輸送です。

ワクチンを配布するには、単に小瓶を箱に入れてトラックに積むだけでなく、はるかに複雑な作業が必要です。ワクチンは、メーカーから出荷されてから患者に投与されるまで、非常に特殊な条件で保管されなければなりません。



例えば、ファイザー社の新型コロナワクチンは、マイナス70℃という極めて低温度の環境で保管されなければなりません。だからこそ、大規模な予防接種活動の成功は、信頼性の高いコールドチェーン（ワクチンを推奨温度で安全に保管・輸送するシステム）にかかってくるのです。記事の続きは[こちら](#)

## 【ワクチンへのためらいを抱く人にどう接すべきか？】

現在、世界中で新型コロナワクチンの接種が展開されており、ワクチン接種の様子を自撮りで写真に収め、ソーシャルメディアに掲載する人も多くいます。しかし一方で、ワクチンに懐疑的な人もいます。実際そのような人の数は多く、公衆衛生当局は懸念を抱いています。

ワクチンに対するためらいは、しばしば激しい議論のトピックとなります。しかし、ワクチンは本来、議論の対象となるものではありません。人びとが積極的にワクチンを接種することは、世界保健に影響を与える最も重要な方法の一つです。

ひとの感情が入り込むトピックについて対話を始めるのは常に難しいものです。今回ご紹介するヒントは、あなたの大切な人がワクチン接種について新たな観点から考えるきっかけになるかもしれません。記事の続きは[こちら](#)

## 【創造力と発想力で新型コロナから地域社会を守る】

ロハンタ・アトゥコララさん（スリランカ、コロポ・リコネクションズ・ロータリークラブ会員）は無力感に苛まれていました。新型コロナウイルス流行のためスリランカがロックダウンとなった2020年4月、国内の感染拡大を抑えるためにすぐにも何かを實行したいと感じていました。

「ロックダウンは突然で、うむを言わせぬものでした。行動の自由を制限されるのは辛いものです」とアトゥコララさん。

「困っている地域社会を支援することを誇りとする私たちロータリアンにとっては、特にそうです」

しかし、家にこもることにもいいことがある、会員仲間とオンラインでつながる時間と機会が持てるから、とアトゥコララさんは言います。オンラインでのディスカッションでは、コロナウイルスから身を守る方法を人びとに理解してもらうために何ができるか、さまざまなアイデアが飛び交いました。記事の続きは[こちら](#)



## 会員動向

《 2021年4月 》

### 【入会者】



川越 淳嗣  
(むつ)  
4月1日入会



白鳥 五大  
(青森)  
4月1日入会



古里 卓也  
(青森)  
4月15日入会



清水 雅夫  
(青森)  
4月15日入会

### 【退会者一覧】

クラブ名	氏名	退会日
青森	田邊 豊彦	4月30日
八戸西	前田 寿人	4月1日

**【ご逝去会員】** 謹んでご冥福をお祈りいたします。



吉田 隆一（三沢）  
4月26日ご逝去



新藤 興治（青森）  
4月8日ご逝去

**【ロータリー財団寄付】**



福田 妙子  
（三沢東）  
PHF



大野 秀樹  
（三沢東）  
PHF+1



藤田 智彦  
（弘前西）  
PHF

**【米山記念奨学会寄付】**

<米山功労クラブ>

弘前ロータリークラブ 第20回

八戸北ロータリークラブ 第5回

グループ	クラブ名	例会数	出席率%	正会員数								My Rotary 登録率%
				前月末 会員数	入会	退会	4月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ	4	74.00	52	1	0	53	2	44	11	2	22.64
	むつ大畑R衛星											
	野辺地	4	91.00	15	0	0	15	2	16	0	1	100.00
	七戸	2	81.80	12	0	0	12	2	13	0	1	41.67
	大畑			0			0	0	7	0	7	
	東北	3	60.00	16	0	0	16	2	15	1	0	93.75
	むつ中央	4	65.00	23	0	0	23	0	24	0	1	13.04
	六ヶ所	4	48.00	30	0	0	30	0	32	1	3	40.63
	7クラブ小計			148	1	0	149	8	151	13	15	
東第二グループ	三沢	5	59.09	25	0	1	24	0	25	1	2	40.00
	十和田	4	100.00	36	0	0	36	8	35	1	0	27.78
	十和田東	4	87.00	27	0	0	27	2	27	1	1	51.85
	おいらせ	4	78.00	9	0	0	9	1	9	0	0	44.44
	三沢東	3	75.80	36	0	0	36	5	36	0	0	33.33
	十和田八甲	3	84.71	88	0	0	88	3	82	9	3	31.82
		6クラブ小計			221	0	1	220	19	214	12	6
西第一グループ	五所川原	4	71.25	54	0	0	54	6	54	1	1	66.67
	金木	4	88.00	13	0	0	13	2	12	1	0	7.69
	鯨ヶ沢	4	64.20	14	0	0	14	2	14	0	0	35.71
	鶴田	3	50.00	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	4	52.58	29	0	0	29	1	29	1	1	37.93
	つがる	3	68.81	31	0	0	31	0	30	1	0	25.81
	五所川原イヴニング	2	58.30	30	0	0	30	7	29	1	0	46.67
		7クラブ小計			179	0	0	179	19	176	5	2
西第二グループ	弘前	4	70.10	47	0	0	47	3	45	4	2	38.30
	弘前東	3	87.50	9	0	0	9	3	9	0	0	55.56
	板柳	1	100.00	12	0	0	12	0	12	0	0	33.33
	黒石	4	96.00	19	0	0	19	3	18	1	0	68.42
	大鰐	2	73.00	10	0	0	10	0	9	1	0	20.00
	弘前西	2	100.00	28	0	0	28	3	30	0	2	75.00
	平賀・尾上	2	37.50	12	0	0	12	0	12	0	0	25.00
	弘前アップル	1	57.00	22	0	0	22	3	22	0	0	63.64
		8クラブ小計			159	0	0	159	15	157	6	4
中グループ	青森	2	100.00	87	3	2	88	5	84	12	8	73.03
	青森北東	2	68.00	26	0	0	26	3	26	1	1	65.38
	青森中央	2	71.40	7	0	0	7	1	7	0	0	42.86
	青森モーニング	3	55.60	21	0	0	21	2	20	1	0	47.62
		4クラブ小計			141	3	2	142	11	137	14	9
南グループ	八戸	4	100.00	60	0	0	60	0	60	4	4	45.00
	八戸東	4	100.00	50	0	0	50	0	51	2	3	60.00
	三戸	4	97.00	9	0	0	9	0	11	0	2	100.00
	五戸	2	90.90	11	0	0	11	0	14	0	3	63.64
	南部	5	88.00	10	0	0	10	0	10	0	0	50.00
	八戸北	4	67.40	43	0	0	43	10	41	2	0	45.24
	八戸南	4	76.20	35	0	0	35	1	33	2	0	80.00
	八戸中央	4	62.40	22	0	0	22	5	22	0	0	50.00
	八戸西	2	58.60	36	0	1	35	18	33	3	1	41.67
	9クラブ小計			276	0	1	275	34	275	13	13	
	合計			1,124	4	4	1,124	106	1,110	63	49	47.59
				期首会員数は2020年6月末会員数です								
				7月1日の会員数は1,117名です								
				4月末現在の入退会人数です								

## 地区行事予定

地区行事予定			
2021年6月      ローターリー親睦活動月間			
月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(火)		
2	(水)		
3	(木)		
4	(金)		
5	(土)	ローターアクトゴミ拾い活動 米山カウンセラー研修会 (※中止)	種差海岸 未定
6	(日)		
7	(月)		
8	(火)		
9	(水)		
10	(木)		
11	(金)		
12	(土)	国際ロータリー年次大会 台北大会 (～16日)	台湾・台北 (※バーチャル開催)
13	(日)	RLI ディスカッションリーダー研修会 (※RLI委員会に変更)	はまなす会館
14	(月)		
15	(火)		
16	(水)		
17	(木)		
18	(金)		
19	(土)	RYLA (※5/8 (土)、9 (日) から日程変更)	Zoom
20	(日)	RLI (※中止)	はまなす会館
21	(月)		
22	(火)		
23	(水)		
24	(木)		
25	(金)		
26	(土)	クラブ拡大・会員増強委員会研修会 (※中止)	八戸プラザホテル
27	(日)		
28	(月)		
29	(火)		
30	(水)		

地区行事予定			
2021年7月			
月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(木)	第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	(Zoom+YouTube)
2	(金)		
3	(土)		
4	(日)	全国青少年交換委員長・危機管理委員長合同会議	(対面+Zoom)
5	(月)		
6	(火)		
7	(水)		
8	(木)		
9	(金)		
10	(土)		
11	(日)		
12	(月)		
13	(火)	ガバナー公式訪問 八戸北RC	八戸プラザホテル
14	(水)		
15	(木)	ガバナー公式訪問 三沢東RC	きざん三沢
16	(金)		
17	(土)		
18	(日)		
19	(月)	ガバナー公式訪問 青森中央RC	ホテル青森
20	(火)	ガバナー公式訪問 十和田RC	十和田倶楽部
21	(水)	ガバナー公式訪問 おいらせRC	レストランカワヨグリーンロッジ
22	(木)	海の日	
23	(金)	スポーツの日	
24	(土)	オリンピック休日	
25	(日)		
26	(月)	ガバナー公式訪問 弘前RC	ホテルニューキャッスル
27	(火)	ガバナー公式訪問 板柳RC	板柳町商工会
28	(水)	ガバナー公式訪問 五所川原RC	ホテルサンルート五所川原
29	(木)	ガバナー公式訪問 八戸南RC	八戸パークホテル
30	(金)		
31	(土)		